

# 国道 4 号茶畑地区電線共同溝 P F I 事業

## 見積参考資料

令和 6 年 1 0 月

国土交通省東北地方整備局

## 見積参考資料

### 国道4号 茶畑地区電線共同溝PFI事業 詳細設計業務

本参考資料は、現場説明参加者の迅速な見積に対しての一資料であり、委託契約上は拘束力を生じさせるものではないことに留意してください。

#### 1. 電線共同溝詳細設計

- ・ 設計延長 2,060m
- ・ 市街地以外の延長 0m
- ・ 予備設計成果 なし
- ・ 各部設計 行わない
- ・ 箇所数 1箇所

#### 2. 打合せ（電線共同溝詳細設計） 1式あたり

打合せ時期	回数	単位	1式あたりの編成		
			主任技師	技師A	技師B
業務着手時	1	人	0.5	0.5	0.5
中間打合せ	5	人	0.5	0.5	0.5
成果品納入時	1	人	0.5	0.5	0.5

#### 3. その他

照査技術者による報告、公開成果品作成、旅費（率計上・宿泊無）、電子成果品作成費については、設計業務等標準積算基準に基づき費用を計上しております。

## 見積参考資料

### 国道4号 茶畑地区電線共同溝PFI事業 調整マネジメント業務（設計段階）

本参考資料は、現場説明参加者の迅速な見積に対しての一資料であり、委託契約上は拘束力を生じさせるものではないことに留意してください。

#### 1. 業務計画

業務計画は以下を見込んでいます。

1業務あたり

作業区分	単位	数量	職種	備考
業務計画	人	1.4	技師（A）	

#### 2. 設計管理

設計管理は以下を見込んでいます。

対象業務数：1業務

1業務あたり

作業区分	単位	数量	職種	備考
設計管理	人	0.4	技師（A）	

#### 3. 監理業務

監理業務は以下を見込んでいます。

設計期間：24か月

1か月あたり

作業区分	単位	数量	職種	備考
監理業務	人	0.55	技師（A）	
担当技術者	月	1.0	技師（C）	事業監理、調査・設計

・担当技術者（19.5日/月）×1人

#### 4. 打合せ

打合せは以下を見込んでいます。

設計期間：24か月

1か月あたり

作業区分	単位	数量	職種	備考
打合せ	人	1.2	技師（A）	移動時間を含む。2回/月を標準とする

#### 5. その他

旅費（率計上・宿泊無）、電算機使用経費（率計上）、電子成果品作成費については、発注者支援業務等標準積算基準に基づき費用を計上しております。

## 見 積 参 考 資 料

工 事 名      国道4号 茶畑地区電線共同溝P F I事業 工事業務

この「見積参考資料」は、対象工事の現場条件等を考慮し標準的な施工内容等を参考に示した資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って「見積参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工方法、地質条件等を充分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「見積参考資料」の有効期間は、この工事の入札日までとする。

国土交通省 東北地方整備局  
岩手河川国道事務所 交通対策課

## 見積参考資料（積算条件）

工事名	国道4号 茶畑地区電線共同溝PFI事業 工事業務	(当初)	主たる工種	C・C・BOX工事
間 接 費 名 称		積 算 条 件		
		補 正 項 目	条 件	
共通仮設費（率計上）	施工地域補正 除雪工事補正	市街地（DIDD補正）（1）－1 補正無		
現場環境改善費（率計上）	市街地補正	市街地		
現場管理費	施工地域補正 施工時期補正 熱中症補正 緊急工事補正 砂防・地滑り補正	市街地（DIDD補正）（1）－1 補正しない 補正しない 補正しない 補正しない		
一般管理費等	財団法人等による補正 前払金割合による補正 契約保証に係る補正	補正しない 35%を超えるもの・補正しない 発注者が金銭的保証を必要とする場合		
その他	ICT施工補正 週休2日の補正 被災地補正	補正しない 週休2日（閉所）4週8休以上（月単位） 補正する		

# 見積参考資料

工事名	国道4号 茶畑地区電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
電線共同溝 (本体)		式		1					
開削土工		式		1					
掘削工		式		1					
開削掘削	土砂	m3		4,000		< 100 m3当り > 床掘り(電線共同溝工)	m3	100	
土砂等運搬	土砂	m3		3,000		< 100 m3当り > 運搬(電線共同溝工) 積載区分=土砂; DID区間の有無=有り; 運搬距離(km) (DID区間有)=10.5km以下;	m3	100	
埋戻し工		式		1					
埋戻し・締固め	土砂	m3		1,000		< 100 m3当り > 埋戻し・締固め(電線共同溝工) 土質=土砂;	m3	100	
埋戻し・締固め	中埋砂	m3		1,500		< 100 m3当り > 埋戻し・締固め(電線共同溝工) 土質=中埋砂;	m3	100	
残土処理工		式		1					
整地	残土受け入れ地での 処理	m3		3,000		< 100 m3当り > 整地 作業区分=残土受け入れ地での処理;	m3	100	

# 見積参考資料

工事名	国道4号 茶畑地区電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
電線共同溝工		式		1					
管路工(管路部)		式		1					
埋設管路	角型FEP管 径100mm	m		5,500		< 10 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=多条管設置;	m	10	
ロングベルマウス	角型FEP管 径100mm用	個		180		< 10 個当り > ロングベルマウス 角型FEP φ100用	個	10	
管路工(管路部)		式		1					
埋設管路	角型FEP管 径130mm	m		6,500		< 10 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=多条管設置;	m	10	
ロングベルマウス	角型FEP管 径130mm用	個		240		< 10 個当り > ロングベルマウス 角型FEP φ130用	個	10	
管路工(管路部)		式		1					
埋設管路	共用FA管 径150mm	m		2,000		< 10 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部; 設置区分=FA管設置;	m	10	
ダクトスリーブ	共用FA管 径150mm用	個		80		< 10 個当り > ダクトスリーブ FA管 φ150用	個	10	

# 見積参考資料

工事名	国道4号 茶畑地区電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)				工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
						名 称	単 位	数 量
やりとり継手	共用FA管 径150mm用	個		40		< 10 個当り > やりとり継手 FA管 φ150用	個	10
管路工(管路部)		式		1				
埋設管路	BD管 径200mm	m		200		< 100 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=ホテイ管(φ200mm)設置(さや管含む)；さや管の条数=φ50, φ30以外の使用； 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=ホテイ管(φ200mm)設置(さや管含む)；さや管の条数=φ50, φ30以外の使用； さや管(SU) φ30 直管 さや管(SU) φ50 直管 管路受台(スパーサ)(材料費)	m m m 個	90  10  100 500 100
ダクトスリーブ	BD管 径200mm用	個		15		< 10 個当り > ダクトスリーブ BD管 φ200用 インサート付	個	10
管路工(管路部)		式		1				



# 見積参考資料

工事名	国道4号 茶畑地区電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事									
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項										
						名称	単位	数量								
埋設管路	BD管 径250mm	m		2,000		< 100 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=ホテイ管(φ250mm)設置 (さや管含む)；さや管の条数=φ50, φ30以外の使用 ； 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=ホテイ管(φ250mm)設置 (さや管含む)；さや管の条数=φ50, φ30以外の使用 ； さや管(SU) φ30 直管 さや管(SU) φ50 直管 管路受台(スペーサ)(材料費)	m	90	m	10	m	100	m	500	個	100
ダクトスリーブ	BD管 径250mm用	個		80		< 10 個当り > ダクトスリーブ BD管 φ250用 インサート付	個	10								
管路工(管路部)		式		1												
埋設管路	PV管 径50mm	m		240		< 100 m当り > 管路材設置 作業区分=埋設部；設置区分=単管設置； 管路受台(スペーサ)(材料費)	m	100	個	100						
ダクトスリーブ	PV管 径50mm用	個		30		< 10 個当り > ダクトスリーブ PV管 φ50用	個	10								
管路工(管路部) 埋設表示シート		式		1												
埋設表示シート	W=400 2倍	m		4,000		< 10 m当り > 埋設表示シート(材料費)	m	10								

# 見積参考資料

工事名	国道4号 茶畑地区電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス工(特殊部)		式		1					
プレキャストボックス	特殊部I型 W1200×H1500×L3300	個		50		< 10 個当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下; ラフテレシクレン賃料補正係数=標準以外; ラフテレシクレン賃料補正係数(実数入力)=0.3 無; プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下; ラフテレシクレン賃料補正係数=標準以外; ラフテレシクレン賃料補正係数(実数入力)=0.3 無; プレキャストボックス 特殊部I型 W1200×H1500×L3300 基礎碎石 碎石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下; 碎石の種類=再生クラッシュラン 40~0; 費用の内訳=全ての費用;	個	10	
							個	20	
							個	10	
							m <sup>2</sup>	54	

# 見積参考資料

工事名	国道4号 茶畑地区電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス	特殊部Ⅰ型 W1200×H1500×L3300 横断ブロック W350×H600×L1000	個		15		< 10 個当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下; ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外; ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=0.3 無;	個	10	
プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下; ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外; ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=0.3 無;	個					20			
プレキャストボックス 特殊部Ⅰ型 W1200×H1500×L3300	個					10			
プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下; ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外; ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=0.3 無;	個					10			
						基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下; 砕石の種類=再生クラッシュラン 40~0; 費用の内訳=全ての費用;	m <sup>2</sup>	64	
プレキャストボックス	電力Ⅱ型 W1000×H1500×L2200 (機器直上1基)	個		10		プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kgを超え4000kg以下; ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外; ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=0.3 無;	個	10	
プレキャストボックスブロック設置 ボックスブロック1個当り質量=1000kg以下; ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外; ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=0.3 無;	個					20			
プレキャストボックス 電力Ⅱ型 W1000×H1500×L2200 (機器直上1基)	個					10			
基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下; 砕石の種類=再生クラッシュラン 40~0; 費用の内訳=全ての費用;	m <sup>2</sup>					33			

# 見積参考資料

工事名	国道4号 茶畑地区電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
プレキャストボックス	電力Ⅱ型 W1000×H1500×L4200 (機器直上2基)	個		20		< 10 個当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックス1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下; ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外; ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=0.3 無; プレキャストボックスブロック設置 ボックス1個当り質量=1000kg以下; ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外; ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=0.3 無; プレキャストボックス 電力Ⅱ型 W1000×H1500×L4200(機器直上2基) 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下; 砕石の種類=再生クラッシュラン 40~0; 費用の内訳=全ての費用;	個	10	
			個				個	20	
プレキャストボックス	電力Ⅱ型 W900×H1200×L4200 (機器直上2基)	個		5		< 10 個当り > プレキャストボックスブロック設置 ボックス1個当り質量=4000kgを超え11000kg以下; ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外; ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=0.3 無; プレキャストボックスブロック設置 ボックス1個当り質量=1000kg以下; ラフテレンクレーン賃料補正係数=標準以外; ラフテレンクレーン賃料補正係数(実数入力)=0.3 無; プレキャストボックス 電力Ⅱ型 W900×H1200×L4200(機器直上2基) 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下; 砕石の種類=再生クラッシュラン 40~0; 費用の内訳=全ての費用;	個	10	
			個				個	20	
							個	10	
							m 2	58	
							m 2	57	

# 見積参考資料

工事名	国道4号 茶畑地区電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)				工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項		
						名称	単位	数量
プレキャストボックス	通信II型 W950×H1500×L2200	個		10		プレキャストボックスブロック設置 ボックス1個当たり質量=1000kgを超え4000kg以下; ラフレソクレン賃料補正係数=標準以外; ラフレソクレン賃料補正係数(実数入力)=0.3 無; プレキャストボックスブロック設置 ボックス1個当たり質量=1000kg以下; ラフレソクレン賃料補正係数=標準以外; ラフレソクレン賃料補正係数(実数入力)=0.3 無; プレキャストボックス 通信II型 W950×H1500×L2200 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下; 砕石の種類=再生クラッシュラン 40~0; 費用の内訳=全ての費用;	個	10
							個	20
							個	10
							m <sup>2</sup>	31
プレキャストボックス	通信接続柵 W500×H1050×L2000	個		20		< 10 個当たり > プレキャストボックスブロック設置 ボックス1個当たり質量=1000kgを超え4000kg以下; ラフレソクレン賃料補正係数=標準以外; ラフレソクレン賃料補正係数(実数入力)=0.3 無; 基礎砕石 砕石の厚さ=7.5cmを超え12.5cm以下; 砕石の種類=再生クラッシュラン 40~0; 費用の内訳=全ての費用;	個	10
							m <sup>2</sup>	17
蓋	円形蓋 φ750 歩道用	組		50		< 10 組当たり > 蓋設置 蓋1組当たり質量=200kg以下; 蓋(材料費)	組	10
							組	10
蓋	円形蓋 φ750 歩道用 調整リング含む	組		10		蓋設置 蓋1組当たり質量=200kgを超え800kg以下; 蓋(材料費)	組	10
							組	10
蓋	角蓋 500×800 歩道用	組		30		< 10 組当たり > 蓋設置 蓋1組当たり質量=200kg以下; 蓋(材料費)	組	10
							組	10

# 見積参考資料

工事名	国道4号 茶畑地区電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
蓋	角蓋 900×4200 歩道用	組		5		< 10 組当り > 蓋設置 蓋1組当り質量=800kgを超え2000kg以下; 蓋 (材料費)	組	10	
蓋	角蓋 500×2000 歩道用	組		20		< 10 組当り > 蓋設置 蓋1組当り質量=200kgを超え800kg以下; 蓋 (材料費)	組	10	
舗装工		式		1					
アスファルト舗装工 (車道部)		式		1					
下層路盤(車道・路肩部)	再生クラッシュ RC-4 0 仕上り厚 350m m	m2		2,300		< 100 m2当り > 下層路盤 (車道・路肩部) 全仕上り厚(実数入力)=350 mm; 施工区分=2層施工; 材料=再生クラッシュ RC-40; 費用の内訳=全ての費用 ;	m 2	100	
上層路盤(車道・路肩部)	粒度調整碎石 M-4 0 仕上り厚 100m m	m2		2,300		< 100 m2当り > 上層路盤 (車道・路肩部) 材料=粒度調整碎石 M-40; 全仕上り厚(実数入力)=1 00 mm; 施工区分=1層施工; 費用の内訳=全ての費用 ;	m 2	100	
上層路盤(車道・路肩部)	再生瀝青安定処理 舗装厚 100mm 1.4m未満	m2		2,300		< 100 m2当り > 上層路盤 (車道・路肩部) 材料=路盤材(各種); 平均幅員=1.4m未満(1層当り平 均仕上り厚50mmを超え100mm以下); 1層当り平均仕 上り厚(50mm超100mm以下)(実=100 mm; 瀝青材料種 類=プライムコート PK-3; 費用の内訳=全ての費用;	m 2	100	

# 見積参考資料

工事名	国道4号 茶畑地区電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参考事項			
						名称	単位	数量	
基層(車道・路肩部)	再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満	m2		2,300		< 100 m2当り > 基層(車道・路肩部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ; 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm; 材料=再生粗粒度アスコン(20); 瀝青材料種類=タックコート PK-4; 費用の内訳=全ての費用;	m2	100	
中間層(車道・路肩部)	再生粗粒度アスコン(20) 舗装厚 50mm 1.4m未満	m2		2,300		< 100 m2当り > 中間層(車道・路肩部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ; 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm; 材料=再生粗粒度アスコン(20); 瀝青材料種類=タックコート PK-4; 費用の内訳=全ての費用;	m2	100	
表層(車道・路肩部)	各種(2.30以上2.40t/m3未満) 再生密粒度As(20T) 舗装厚 50mm 1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50	m2		2,300		< 100 m2当り > 表層(車道・路肩部) 平均幅員=1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) ; 1層当り平均仕上り厚(50mm以下)(実数入力)=50 mm; 材料=各種(2.30以上2.40t/m3未満); 瀝青材料種類=タックコート PK-4; 費用の内訳=全ての費用;	m2	100	
アスファルト舗装工(歩道部)		式		1					
下層路盤(歩道部)	再生クラッシュ RC-40 仕上り厚 150mm	m2		5,400		< 100 m2当り > 下層路盤(歩道部) 全仕上り厚(実数入力)=150 mm; 施工区分=1層施工; 材料=再生クラッシュ RC-40; 費用の内訳=全ての費用;	m2	100	
表層	開粒度アスコン(13) 2.4m以上 舗装厚 40mm	m2		5,400		< 100 m2当り > 透水性アスファルト舗装 平均幅員=2.4m以上; 1層当り平均仕上り厚(70mm以下)(実数入力)=40 mm; 材料=開粒度アスコン(13);	m2	100	

# 見積参考資料

工事名	国道4号 茶畑地区電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
排水構造物工		式		1					
側溝工		式		1					
プレキャストU型側溝	US3-B400-H500	m		2,000		< 1 m当り > U型側溝 作業区分=据付け; L=1000mm・L=4000mmの使用の有無=無し; 夜間作業の有無=無し; U型側溝の種類=側溝(各種); U型側溝の規格・仕様=L=2000mm; U型側溝の質量=1000kg/個以下; 時間的制約の有無=無し; 施工箇所における補正=無し; 基礎砕石施工の有無=有り; 基礎砕石の種類=再生クラッシュラン 40~0; 基礎砕石設計数量(実数入力)=0.6 m3/10m;	m	1	
円形側溝	Φ400	m		2,000		< 10 m当り > 管(函)渠型側溝 作業区分=据付; 内径又は内空幅(mm)=400mmを超え600mm以下; 基礎砕石の有無=有り; 費用の内訳=全ての費用;	m	10	
横断管渠	CSB-D450	m		100		< 10 m当り > 鉄筋コンクリート台付管 作業区分=据付; 管径=450mm; 1個当りの管長さ(実数入力)=2.4 m/個; 費用の内訳=全ての費用;	m	10	
側溝蓋	コンクリート蓋 US3-B400用	枚		3,800		< 1 枚当り > 蓋版 作業区分=据付け; 夜間作業の有無=無し; 蓋版の種類=蓋版(各種); 規格・仕様区分=40を超え170kg/枚以下; 時間的制約の有無=無し; 施工箇所における補正=無し;	枚	1	



# 見積参考資料

工事名	国道4号 茶畑地区電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
側溝蓋	グレーチング蓋 US3-B400用 T-25	枚		200		< 1 枚当り > 蓋版 作業区分=据付け；夜間作業の有無=無し；蓋版の種類=蓋版(各種)；規格・仕様区分=40を超え170kg/枚以下；時間的制約の有無=無し；施工箇所における補正=無し；	枚	1	
縁石工		式		1					
縁石工		式		1					
歩車道境界ブロック	C種 HB-F	m		1,400		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック 作業区分=設置；ブロック規格=各種(1000mm超2000mm以下、150kg以上550kg未満)；m当り歩車道境界ブロック使用量(実数入力)=0.5 個/m；基礎砕石規格=無し；均し基礎コンクリート規格=無し；	m	1	
歩車道境界ブロック	C種 HB-M2	m		500		< 1 m当り > 歩車道境界ブロック 作業区分=設置；ブロック規格=各種(600mm以下、50kg未満)；m当り歩車道境界ブロック使用量(実数入力)=1.66 個/m；基礎砕石規格=無し；均し基礎コンクリート規格=無し；	m	1	
防護柵工		式		1					
防止柵工		式		1					

# 見積参考資料

工事名	国道4号 茶畑地区電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
横断防止柵	柵高0.8m 土中建込	m		500		< 1 m当り > 防護柵（横断・転落防止柵）設置工 施工区分=土中建込；防護柵種類=ビーム式・パネル式； 支柱間隔=3m；根巻きコンクリートの有無=無；施工規模による加算=100m以上(標準)；時間的制約を受ける場合の補正=無；夜間作業の補正=無；	m	1	
構造物撤去工		式		1					
防護柵撤去工		式		1					
横断防止柵撤去	柵高0.8m 土中建込	m		500		< 1 m当り > 防護柵（横断・転落防止柵）撤去工 施工区分=土中建込；防護柵種類=ビーム式・パネル式； 支柱間隔=3m；時間的制約を受ける場合の補正=無； 夜間作業の補正=無；	m	1	
コンクリート構造物取壊し工		式		1					
コンクリート構造物取壊し（既設縁石、既設側溝）	無筋構造物 人力施工	m3		800		< 1 m3当り > 構造物とりこわし 構造物区分=無筋構造物；工法区分=人力施工；時間的制約の有無=無し；夜間作業の有無=無し；	m3	1	
殻運搬	コンクリート殻（無筋）	m3		800		< 1 m3当り > 殻運搬 殻発生作業=コンクリート（無筋）構造物とりこわし；積込工法区分=機械積込；DID区間の有無=有り；運搬距離(km)(DID区間有無)=10.9km以下；費用の内訳=全ての費用；	m3	1	

# 見積参考資料

工事名	国道4号 茶畑地区電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
殻処分	コンクリート殻 (無筋)	m3		800		< 10 m3当り > 処分費 (t)	t	23.5	
舗装版破碎工		式		1					
舗装版切断	アスファルト舗装版 舗装厚 40mm	m		3,600		< 10 m当り > 舗装版切断 舗装版種別=アスファルト舗装版; アスファルト舗装版厚=15cm以下; 費用の内訳=全ての費用;	m	10	
舗装版切断	アスファルト舗装版 舗装厚 250mm	m		2,200		< 10 m当り > 舗装版切断 舗装版種別=アスファルト舗装版; アスファルト舗装版厚=15cmを超え30cm以下; 費用の内訳=全ての費用;	m	10	
舗装版破碎	アスファルト舗装版 舗装厚15cm以下	m2		5,400		< 10 m2当り > 舗装版破碎積込 (電線共同溝工)	m2	10	
舗装版破碎	アスファルト舗装板 舗装厚15cmを超え35cm以下	m2		2,300		< 10 m2当り > 舗装版破碎 舗装版種別=アスファルト舗装版; 障害等の有無=無し; 騒音振動対策=必要; 舗装版厚=15cmを超え35cm以下; 積込作業の有無=有り; 費用の内訳=全ての費用;	m2	10	
殻運搬	アスファルト殻	m3		680		< 10 m3当り > 運搬 (電線共同溝工) 積載区分=アスファルト塊; DID区間の有無=有り; 運搬距離(km) (DID区間有)=10.5km以下;	m3	10	
殻処分	アスファルト殻(車道部)	m3		460		< 10 m3当り > 処分費 (t)	t	23.5	
殻処分	アスファルト殻(歩道部)	m3		220		< 10 m3当り > 処分費 (t)	t	21.5	

# 見積参考資料

工事名	国道4号 茶畑地区電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
仮設工		式		1					
交通管理工		式		1					
交通誘導警備員	A	人日		1,000		< 10 人日当り > 交通誘導警備員A	人日	10	
交通誘導警備員	B	人日		4,000		< 10 人日当り > 交通誘導警備員B	人日	10	
電線共同溝 (舗装修繕)		式		1					
舗装工		式		1					
路面切削工		式		1					
路面切削	路面切削厚 t=5cm	m2		16,500		< 1 m2当り > 路面切削 施工区分・平均切削深さは全面切削6cm以下(4000m2以下)；段差すりつけの撤去作業=無し；費用の内訳=全ての費用；	m2	1	
殻運搬	アスファルト殻	m3		825		< 1 m3当り > 殻運搬（路面切削） DID区間の有無=無し；運搬距離(km)(DID区間無)=10.5km以下；費用の内訳=全ての費用；	m3	1	

# 見積参考資料

工事名	国道4号 茶畑地区電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
殻処分	アスファルト殻	m3		825		< 10 m3当り > 処分費 (t)	t	23.5	
オーバーレイ工		式		1					
表層	排水性舗装 t=5cm	m2		16,500		< 1 m2当り > 排水性舗装・表層 (車道・路肩部) 平均施工幅員=2.4m以上; 1層当り平均仕上り厚(65mm未満)(実数入力)=50 mm; 導水パイプの設置=無し; 材料=各種(2.20t/m3以上2.30t/m3未満); 瀝青材料の規格=タックコート PKR(ゴム入り);	m2	1	
仮設工		式		1					
交通管理工		式		1					
交通誘導警備員	A	人日		70		< 1 人日当り > 交通誘導警備員A	人日	1	
交通誘導警備員	B	人日		70		< 1 人日当り > 交通誘導警備員B	人日	1	
直接工事費		式		1					
共通仮設費		式		1					

## 見積参考資料

工事名	国道4号 茶畑地区電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名 称	単 位	数 量	
共通仮設費		式		1					
運搬費		式		1					
建設機械運搬費		台		1		貨物自動車による運搬(1車1回) 運搬区分=路面切削機(ホイール式・廃材積込装置付)2.0m; 片道運搬距離(実数入力)=1.6km; その他の諸料金の有無=無; 運搬中の賃料(損料)の有無=無;	台	2	
現場環境改善費(率計上)		式		1					
共通仮設費(率計上)		式		1		施工地域補正=市街地(DID補正)(1)-1; 除雪工補正=補正無; ICT施工補正=しない; 週休2日の補正=週休2日(閉所)4週8休以上(月単位)			
純工事費		式		1					
現場管理費		式		1		施工地域補正=市街地(DID補正)(1)-1; 緊急工事補正=しない; 砂防・地滑り工事補正=しない; ICT施工補正=しない; 週休2日の補正=週休2日(閉所)4週8休以上(月単位)			
工事原価		式		1					
一般管理費等		式		1					

## 見積参考資料

工事名	国道4号 茶畑地区電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)					工種区分	C・C・BOX工事		
工事区分・工種・種別・細別・積算要素	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量の増減	参 考 事 項			
						名称	単位	数量	
工事価格		式		1					
消費税相当額		式		1					
工事費計		式		1		建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

# 見積参考資料（管理費区分一覧表）

凡 例	管理費区分1 共通仮設費のみ非対象 管理費区分9 率計算の非対象	管理費区分2 工場管理費・一般管理費の対象 管理費区分T 処分費等の対象にする	管理費区分5 一般管理費等対象 管理費区分7 間接労務費対象労務費						
○：該当する管理費区分が含まれている									
工事名	国道4号 茶畑地区電線共同溝PFI事業 工事業務 (当初)				事業区分	共同溝・電線共同溝			
	細別名称	規格	単位	数量	管理費区分 1 管理費区分 T	管理費区分 2	管理費区分 5	管理費区分 7	管理費区分 9
	殻処分	コンクリート殻（無筋）	m3	800	○				
	殻処分	アスファルト殻	m3	460	○				
	殻処分	アスファルト殻	m3	220	○				
	殻処分	アスファルト殻	m3	825	○				



## 見積参考資料

### 国道4号 茶畑地区電線共同溝PFI事業 調整マネジメント業務（工事段階）

本参考資料は、現場説明参加者の迅速な見積に対しての一資料であり、委託契約上は拘束力を生じさせるものではないことに留意してください。

#### 1. 業務計画

業務計画は以下を見込んでいます。

1業務あたり

作業区分	単位	数量	職種	備考
業務計画	人	1.4	技師（A）	

#### 2. 工事管理

工事管理は以下を見込んでいます。

対象工事数：5工事・年

1工事・年あたり

作業区分	単位	数量	職種	備考
工事管理	人	0.4	技師（A）	

#### 3. 監理業務

監理業務は以下を見込んでいます。

工事期間：60か月

1か月あたり

作業区分	単位	数量	職種	備考
監理業務	人	0.55	技師（A）	
担当技術者	月	1.0	技師（C）	事業監理、調査・設計

・担当技術者（19.5日/月）×1人

#### 4. 打合せ

打合せは以下を見込んでいます。

工事期間：60か月

1か月あたり

作業区分	単位	数量	職種	備考
打合せ	人	1.2	技師（A）	移動時間を含む。2回/月を標準とする

#### 5. その他

旅費（率計上・宿泊無）、電算機使用経費（率計上）、電子成果品作成費については、発注者支援業務等標準積算基準に基づき費用を計上しております。

## 見積参考資料

### 国道4号 茶畑地区電線共同溝PFI事業 工事監理業務

本参考資料は、現場説明参加者の迅速な見積りに対しての一資料であり、委託契約上は拘束力を生じさせるものではないことに留意してください。

#### 1. 業務計画

業務計画は以下を見込んでいます。

1業務あたり

作業区分	単位	数量	職種	備考
業務計画	人	1.4	技師(A)	

#### 2. 工事管理

工事管理は以下を見込んでいます。

対象工事数：5工事・年

1工事・年あたり

作業区分	単位	数量	職種	備考
工事管理	人	0.4	技師(A)	

#### 3. 工事監督

工事監督は以下を見込んでいます。

工事期間：60か月

1か月あたり

作業区分	単位	数量	職種	備考
指揮・監督	人	0.55	技師(A)	
担当技術者	月	1.0	技師(C)	事業監理、調査・設計

・担当技術者 19.5日/月+超勤(30h) ×1人

超過勤務時間あたり標準単価は、設計業務等積算基準による。

#### 4. 打合せ

打合せは以下を見込んでいます。

工事期間：60か月

1か月あたり

作業区分	単位	数量	職種	備考
打合せ	人	1.2	技師(A)	移動時間を含む。2回/月を標準とする

#### 5. その他

旅費(率計上・宿泊無)、電算機使用経費(率計上)、電子成果品作成費については、発注者支援業務等標準積算基準に基づき費用を計上しております。

## 見積参考資料

### 国道4号 茶畑地区電線共同溝PFI事業 点検業務・補修業務（定期点検）

本参考資料は、現場説明参加者の迅速な見積に対しての一資料であり、委託契約上は拘束力を生じさせるものではないことに留意してください。

#### 1. 電線共同溝設備定期点検 10基あたり

点検項目	単位	技師B	技師C	技術員
電線共同溝設備定期点検	人	0.5	1.5	1.5

#### 2. 打合せ（電線共同溝設備定期点検） 1式あたり

打合せ時期	回数	単位	1式あたりの編成		
			技師B	技師C	技術員
業務着手時	1	人	0.5	0.5	0.5
中間打合せ	1	人	0.5	0.5	0.5
成果品納入時	1	人	0.5	0.5	0.5

・打合せは、16年間で3回実施。1回あたりの打合せは、上表のとおり。

#### 3. その他

旅費（率計上・宿泊無）、電子成果品作成費については、設計業務等積算基準に基づき費用を計上しております。

## 見積参考資料

### 国道4号 茶畑地区電線共同溝PFI事業 点検業務・補修業務（台帳作成・管理業務）

本参考資料は、現場説明参加者の迅速な見積に対しての一資料であり、委託契約上は拘束力を生じさせるものではないことに留意してください。

#### 1. 用地測量

- ・ 地域による変化率 市街地乙
- ・ 縮尺による変化率 1 / 500

#### 2. 道路台帳図面作成

1 kmあたり

作業内容	単位	測量技師補	測量助手
道路台帳図面作成	人	7	2

機械経費 直接人件費の0.5%

材料費 直接人件費の1.5%

#### 3. 打合せ（道路台帳整備）

1 式あたり

打合せ時期	回数	単位	1 式あたりの編成		
			測量主任技師	測量技師	測量技師補
業務着手時	1	人	0.5	0.5	0
中間打合せ	1	人	0.5	0	0.5
成果品納入時	1	人	0.5	0.5	0

#### 4. その他

旅費（率計上・宿泊無）、電子成果品作成費については、設計業務等積算基準に基づき費用を計上しております。

## 見積参考資料

### 国道4号 茶畑地区電線共同溝PFI事業 調整マネジメント業務（維持管理段階）

本参考資料は、現場説明参加者の迅速な見積に対しての一資料であり、委託契約上は拘束力を生じさせるものではないことに留意してください。

#### 1. 調整マネジメント

調整マネジメントは以下を見込んでいます。

維持管理期間：192か月

1ヶ月あたり

作業区分	単位	数量	職種	備考
調整マネジメント (維持管理)	人	1.2	技師(A)	移動時間を含む。2回/月を標準とする

#### 2. その他

旅費（率計上・宿泊無）、電算機使用経費（率計上）、電子成果品作成費については、発注者支援業務等標準積算基準に基づき費用を計上しております。